

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県新宮市 新宮市立医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透訓ガ	救臨感災地
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
26,333	21,878	-	第2種該当	10：1

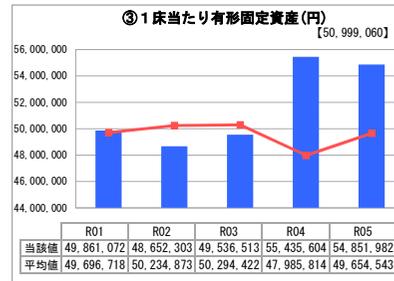
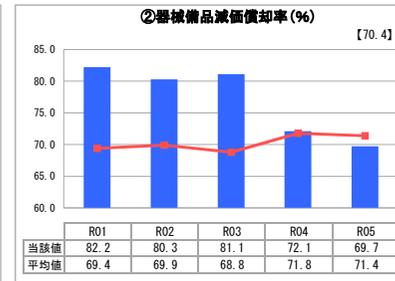
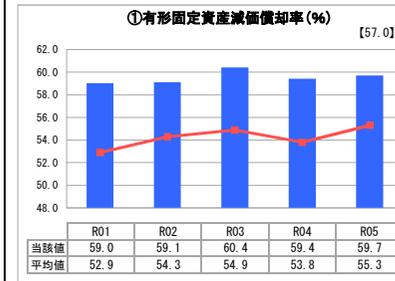
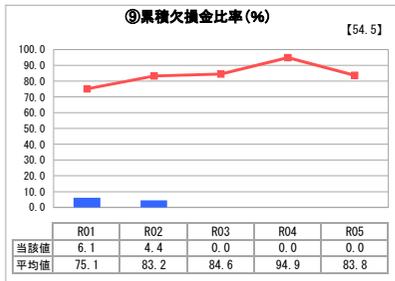
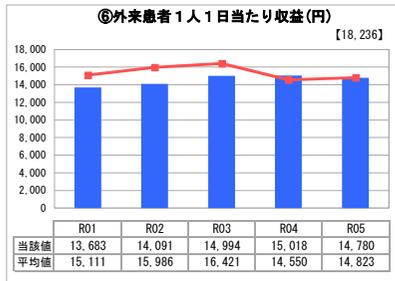
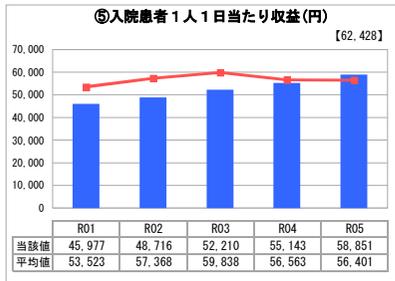
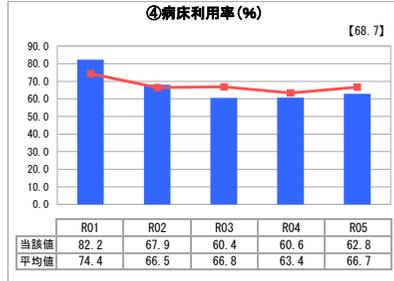
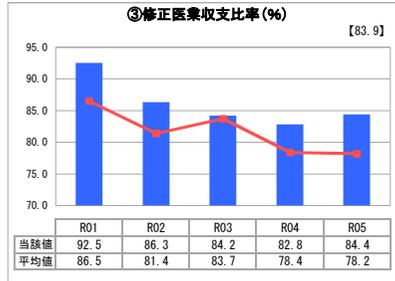
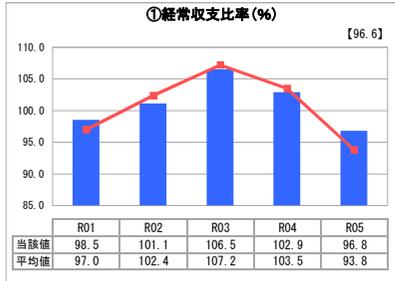
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
281	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	285
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
236	-	236

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の縦横・ネットワークを軸に)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当院は、新宮東牟婁医療圏で最大の病床数を有する地域の拠点病院として、医療圏における中核的な役割を担っている。標榜している診療科は19科で、来院患者は新宮・東牟婁地域の他にも三重県熊野市・南牟婁郡からの来院も多い。また、救急告示病院の指定を受け、24時間の2次救急、場合によっては3次救急まで対応している。更には災害拠点病院にも指定されており、有事の際には重要な役割を担うことになっている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度決算は、新型コロナウイルス感染症対応が段階的に通常医療へ移行された結果、入院収益が増加したものの、新型コロナウイルス感染症関連の補助金が減少した事等により、①経常収支比率は100%を下回ったが、②医業収支比率は増加し、③修正医業収支比率も増加した。④病床利用率は、新型コロナの病床確保が感染状況に応じた確保に変更となった事等により、やや増加した。患者単価は、⑤入院患者単価は全国平均を上回ったものの、⑥外来患者単価は全国平均を下回っているため、患者単価上昇に向けた取組や収益に対する費用の適正化を図り、経費節減にも取り組む必要がある。⑦職員給与と費対医業収益比率は、全国平均を下回ったが、⑧材料費対医業収益比率は、全国平均を上回っているため、効率的な調達等について分析等が必要である。⑨累積欠損金は昨年度に引き続き発生していない。

2. 老朽化の状況について

建物本体は大きな増改築を行わなければ、減価償却が進むだけとなるため、減価償却費比率は増加する。一方の医療機器は、機器の耐用年数も短く、医学の進歩に伴い新たな医療機器が開発されている中で、地域の中核病院にふさわしい一定水準の機器を揃える必要があり、財政状況を勘案しながら定期的な更新を行ってきた。近年は多くの医療機器等が耐用年数を迎えており、令和4年度に電子カルテシステム等を更新し、令和5年度は病棟ベッド等を更新する等、医療機器の整備が増加傾向にある。このため、①有形固定資産減価償却率はほぼ横ばいであるが、②器械備品減価償却率は減少し、全国平均も下回った。③1床当たり有形固定資産は、令和4年度に一般病床26床を廃止し、高度急性期病床5床を整備した事で病床数が減少したため、数値が高くなっている。

全体総括

当院は平成13年度の開院以来、圏内における医療の要として、圏域内で医療が完結できる体制づくりを目指し、医療スタッフや施設設備、医療機器等の充実を図ってきたが、地理的要因等による医師・看護師不足や過疎高齢化による人口減等に伴い患者数は減少傾向にある。

令和5年度については、新型コロナウイルス感染症への対応が変更となる中、入院収益は増加したが、医業収益はコロナ以前と比べ低い状況であり、コロナ関連補助金の減少により医業外収益も減少した事等により、経常収支が赤字となり、医業収益の改善が課題である。今後も、医療機器の更新や建物附属施設等の整備を進めていく必要がある事から、減価償却費等も踏まえ、収益の確保に努める必要がある。

今後も当該地域の基幹病院・中核病院として、各医療機関との機能分化や連携を図りながら、地域に必要とされる医療を提供する責務を果たしていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。